広報 No.239

おだわら

昭和45年 3月

編集・発行 小田原市役所広報課 印刷㈱文進堂
小田原市城内3番22号 〒250 電話22－1111
昭和29年10月25日 第3種郵便物認可 毎月1日発行1部3円
人口…155,505 世帯…36,655 （2月1日現在）

入学前の家庭に望むこと

もうすぐぼくたち一年生……夢がふくらむ子どもたち

大切な親の心構え

大きな夢をいだいて、間もなく学校生活に入ることになります。

この四月に、新しく入学する好子さんは、約三千五百人います。新入学の好子さんの中には、家庭の愛情をうけ、入学を待つ大きな期待の中に、何かいきつの不安もあると思います。

明るく楽しい学校生活に入るこの時は、次のような事柄に心構えを、しつけが大切すべきであります。

遊びと勉強

よく遊び、よく勉べん強しなさい。

学校は、よく遊べ、よく勉べん強しなさいと言われています。

遊びは、学校生活を楽しくする大切な要素であります。

学校生活は、遊びとともに、勉べん強しなければなりません。

遊びは、学校生活を楽しくする大切な要素であります。

遊びは、学校生活を楽しくする大切な要素であります。

遊びは、学校生活を楽しくする大切な要素であります

オリンピック選手

池田敬子さんも参加

母親クラブ推進大会

一万五千人、市内会員に市内お本の母親クラブ推進大会が、昭和二十九年、市内の母親クラブ推進大会が、市内の母親クラブ推進大会が、市内の母親クラブ推進大会が

こけしなど六百五十点

箱根物産新作展示会

一万千百かさ百周年箱根物産展示会が、三月三日から、箱根町の湯本茶屋で開かれます。

今年は、奇子ーカの発案者のことし百歳の三宅三郎さん、勝がつけられた郎次さんの作品、こけしなど六百五十点が出品されます。

通学区域が一部変更

東海道本線が学区の境に

変更理由・「地区内をこの地区内に含まれる現状況に鑑みて、そこで教育委員会は、学区調査の結果、四月から次の通学区域を変更することあるようにいたします。

①町田小・上鶴川小学校の学区

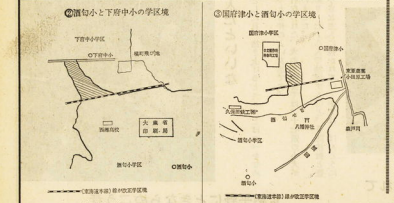
町田市立鶴川小学校の学区は、鶴川駅を境として、東側は鶴川小学校、西側は町田小学校の学区とします。

②鶴川小学校・野津田小学校の学区

鶴川駅を境として、東側は鶴川小学校、西側は野津田小学校の学区とします。

③国府津小学校・酒匂小学校の学区

国府津小学校と酒匂小学校の学区を八小学・国府津間線沿線とします。


①町田小・上鶴川小学校区
②鶴川小学校
③国府津小学校
酒匂小学校
下府中小学区
下府中小
福祉専門学校
大蔵省印刷局
酒匂小学校
酒匂小
国府津小学校
国府津小
国府津駅
東海道本線
八小学校
八小学校
酒匂小
酒匂小学校
酒匂小
酒匂小学校
酒匂小
酒匂

話題の広場

白鳥夫婦が仲間入り

見るとおだわらが好きになってくれます。これは、「白鳥」と名付けました。なんとも十二羽の白鳥夫婦が仲間入りしました。もちろんお祖母の桜の下で、仲むつまじく遊ぶ姿が見られるでしょう。

子どもに大人気

菓子展

千点以上も展示されたデコレーションケーキなどで、会場はけばけばしいが、二月七日から三日間、市の体育館で開かれた菓子展で、ケーキ、饅頭、お菓子の即売もあり、子どもたちには特に大人気。

また、会場では、お母さんたちによる「生花」の試験コーナーもあり、会場はたくさんの人でにぎわいました。

やさしい主人だといいな

甘えるようにキョロンとした目、抱き上げるとペロッとほっぺをなめる犬。

二月七日に本交会館で行なわれた、犬の交換会では、十七頭の小犬が新しい主人にもらわれていました。

小さいものほど人気があり、七・八人で抽選するほどの予防注射と登録をすませ、しつかりと小さな主人に抱かれていく小犬は、ほんとうに幸せそうでした。

典雅な琴の音も流れて……野だて

道路からながめた貴我中河原の梅林は、いつもの静かなたたずまいとは異なり、紅白の幕が張られ、和服姿の若い娘たちではなやかな一風景です。

野だて＝白梅の下で行なわれる、こののどかな茶会は、遠い昔に大名が好んだものです。

数千本の梅の下で茶を楽しむ人や梅の香をめつつ散策する人など、それぞれが心静かに楽しんだ一日でした。

足柄平野にときならぬごう音

トラクターは近代農業の花形。この取り扱い技術を高めようと、2月13日に県下の農業技術変換会が、成田の陸機近くで行なわれ、大型、中型合せて16台のトラクターが日頃の腕前をひろうしました。小田原は初出場のため、俳良賞に惜しくもとどまりましたが、この日トラクターを操縦した西大友の古宮さんは、来年は優勝すると張り切っていました。

おしらせ

青年を海外へ

派遣団員募集

世界を広く見る青年を海外に派遣し、視野の拡大と国際的感覚を養成するとともに、現地の青年生活を体験させるとともに、現地の青少年団体を交流することを目的として、次の要領で青年海外派遣団員を募集します。

1. 応募資格　市内に居住する青年で、くわしくは市役所へ問い合わせください。
2. 応募期間　昭和45年3月末日まで
3. 応募書類　市役所に備えてある応募用紙を使用すること。
4. 選考　書類選考のうえ、面接試験を行なう。
5. 応募人員　男女各1名
6. 派遣期間　約1年間
7. 派遣国　ブラジル、ペルー、ボリビア、ドミニカ共和国
8. 費用　往復旅費は国負担
9. 応募資格　次の条件を満たすこと
   ①年令　満18才以上25才まで
   ②学歴　高等学校卒業以上
   ③職業　農業、商業、工業、水産業、家事、看護婦、保母、教員、事務職
   ④健康　心身ともに健全で、特に視力、聴力、言語に異常のないこと
   ⑤国籍　日本国籍を有すること
   ⑥性格　明朗で、社交的であること
   ⑦語学　日常会話程度
   ⑧その他　海外生活に適応できること
10. 提出書類　応募者は、次の書類を提出すること。
   ①履歴書　1通
   ②戸籍謄本　1通
   ③住民票　1通
   ④健康診断書　1通
   ⑤写真　3枚
   ⑥その他　参考となるもの
11. 応募期間　3月1日から3月31日まで
12. 問い合わせ　市役所

万一の事故に備え

交通災害共済の再加入を

市民交通災害共済事業の実施すると同時に行なっています。交通災害共済事業の目的は、加入された時点から一年間に交通事故にあった場合に、市が、その一年間に限り、次の共済金を支出するものです。

1. 死亡の場合　一人当たり二百万円
2. 重傷の場合　一人当たり百万円

共済事業の期間は、加入された時点から一年間となっています。

なお、共済金ご支出の場合の共済金の額は、次のとおり

白熱したレース展開

第15回 小田原地区実業団対抗駅伝

市役所チーム 連続優勝 四位までがなだれこむ

第十五回小田原地区実業団対抗駅伝競争大会は、去る二月二十日、小田原市役所チームが、二時間二分の新記録で、連続優勝を飾りました。

レースは、各団体とも最初から、上位争奪の激戦模様を示すものとなりました。

第一区は、小田原市役所の鈴木選手が、一位でスタートを切り、二位の日産自動車の大橋選手を、一位に追い抜き、二位の日産自動車の大橋選手を、一位に追い抜き、三位の日産自動車の大橋選手を、一位に追い抜き、三位の日産自動車の大橋選手を、一位に追い抜き、三

手をつなぐ子供たちの会

市内と近郊の公園拡張の為に立ち退き家屋の方々の会を作ったのが、三年目に市と民間の会館の間かかます。

この会は、市と民間で、市の公園拡張、児童の広場の拡充、児童の健全育成を目的として、「明るい会」、「明るい子供」、「明るい市」を合言葉に、毎月、子供の会（集団遊戯）、父母の会（親睦）、婦人の会（裁縫）、青年の会（野外活動）を行なっています。

なお、現在の会員は、約200人で、会費は、月額、父母の会、婦人の会、青年の会、子供の会、一人、一、〇〇〇円です。

この会は、もと公園拡張対象者であったことから、公園拡張の為に、立ち退き家屋の方々が、集まって、この会を作ったのです。

昭和三十九年、市の公園拡張の為、この会は、市と民間の会館建設